

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第1区分
 【発行日】令和6年4月19日(2024.4.19)

【国際公開番号】WO2021/212081
 【公表番号】特表2023-522029(P2023-522029A)
 【公表日】令和5年5月26日(2023.5.26)
 【年通号数】公開公報(特許)2023-097
 【出願番号】特願2022-562645(P2022-562645)

【国際特許分類】

10

- C 1 2 N 15/13(2006.01)
- C 1 2 N 15/63(2006.01)
- C 1 2 P 21/08(2006.01)
- C 0 7 K 16/00(2006.01)
- C 1 2 N 1/15(2006.01)
- C 1 2 N 1/19(2006.01)
- C 1 2 N 1/21(2006.01)
- C 1 2 N 5/10(2006.01)
- A 6 1 K 39/395(2006.01)
- A 6 1 P 37/08(2006.01)
- A 6 1 P 17/06(2006.01)
- A 6 1 P 17/00(2006.01)
- A 6 1 P 17/04(2006.01)
- A 6 1 P 29/00(2006.01)
- A 6 1 P 19/02(2006.01)
- A 6 1 P 25/02(2006.01)

20

【F I】

- C 1 2 N 15/13 Z N A
- C 1 2 N 15/63 Z
- C 1 2 P 21/08
- C 0 7 K 16/00
- C 1 2 N 1/15
- C 1 2 N 1/19
- C 1 2 N 1/21
- C 1 2 N 5/10
- A 6 1 K 39/395 D
- A 6 1 K 39/395 M
- A 6 1 K 39/395 J
- A 6 1 K 39/395 N
- A 6 1 P 37/08
- A 6 1 P 17/06
- A 6 1 P 17/00 1 7 1
- A 6 1 P 17/04
- A 6 1 P 29/00
- A 6 1 P 19/02
- A 6 1 P 29/00 1 0 1
- A 6 1 P 25/02

30

40

【手続補正書】

【提出日】令和6年4月9日(2024.4.9)

50

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(i) 野生型イヌ科動物 (canine) I g G 定常ドメインと比較して少なくとも 1 つのアミノ酸置換を含む、イヌ科動物 I g G 定常ドメインであって、前記置換が、K a b a t における E U インデックスに従って付番されたアミノ酸残基 4 3 4 にあり、該置換は 4 3 4 位でのアスパラギンのヒスチジンとの置換 (N 4 3 4 H) である、イヌ科動物 I g G 定常ドメイン；および

(i i) イヌ科動物 I g G 可変ドメイン

を含む、修飾された I g G であって、

前記修飾された I g G 中に前記置換が存在することにより、該修飾された I g G のイヌにおける血清循環期間を約 9 0 日間増大する、

修飾された I g G。

【請求項 2】

前記修飾された I g G が、前記野生型イヌ科動物 I g G 定常ドメインを有する I g G の半減期と比較して、増加した半減期を有する、請求項 1 に記載の修飾された I g G。

【請求項 3】

前記修飾された I g G が、前記野生型イヌ科動物 I g G 定常ドメインを有する前記 I g G よりも高い、F c R n に対する親和性を有する、請求項 1 に記載の修飾された I g G。

【請求項 4】

前記修飾された I g G が、イヌ科動物 I g G 又はイヌ化 (caninized) I g G である、請求項 1 に記載の修飾された I g G。

【請求項 5】

前記 I g G 定常ドメインが、C H 2 若しくは C H 3 ドメイン又はそれらの組合せを有する F c 定常領域を含む、請求項 1 に記載の修飾された I g G。

【請求項 6】

前記野生型イヌ科動物 I g G 定常ドメインが、配列番号 2 に記載のアミノ酸配列を含む、請求項 1 に記載の修飾された I g G。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の修飾された I g G と、薬学的に許容される担体と、を含む、薬学的組成物。

【請求項 8】

容器内に、請求項 1 に記載の修飾された I g G と、使用指示書と、を含む、キット。

【請求項 9】

請求項 1 に記載の修飾された I g G を含む、ポリペプチド。

【請求項 10】

請求項 1 に記載の修飾された I g G を含む、融合分子。

【請求項 11】

請求項 1 に記載の修飾された I g G を含む、免疫グロブリン分子。

【請求項 12】

医薬の製造のための免疫グロブリン分子の使用であって、該免疫グロブリン分子は請求項 1 1 に記載の分子である、使用。

【請求項 13】

イヌにおける免疫グロブリン分子の血清半減期を増加させるための、免疫グロブリン分子の使用であって、該免疫グロブリン分子は請求項 1 1 に記載の分子である、使用。

【請求項 14】

10

20

30

40

50

前記分子が約 2.5 日～約 3.5 日の範囲の期間にわたり半減期を増加させる、請求項 1.3 に記載の使用。

【請求項 1.5】

前記分子が約 3.0 日間にわたり半減期を増加させる、請求項 1.3 に記載の使用。

【請求項 1.6】

前記免疫グロブリンが、抗 IL-3 分子又は抗 NGF 分子である、請求項 1.1 に記載の免疫グロブリン分子。

10

20

30

40

50